

# 滋賀県内製造業における派遣労働者 等の就労状況と健康管理の実態に関 する調査研究

平成19年10月26日

平成19年度産業保健調査研究発表  
会



# 背景

- 近年雇用の流動化がすすみ、役員を除く雇用者の中の非正規雇用労働者の割合は33.4%（平成18年厚生労働省）と、年々増加している。
- 製造業においても、年々非正規雇用労働者の割合が増加している。
- 非正規雇用労働者の存在は、企業活動にとって必要不可欠な存在となっているが、労働安全衛生関連法規は、依然として正規雇用労働者（正社員）を想定しており、非正規雇用労働者の安全衛生管理の責任があいまいになってしまう可能性がある。
- そこで、滋賀県内の製造業事業場における、非正規雇用労働者の健康管理の状況を把握するため、質問紙調査を行った。

# 対象と方法

- 対象：滋賀産業保健推進センターが把握している滋賀県内の従業員数50人以上の製造業事業場664社
- 方法：郵送法による質問紙調査
  - 2カ月後、3カ月後に郵送による督促を実施

# 回収率

- 664社に質問紙を送付し、349社から回答を得た
  - 回収率52.6%
- 
- 当調査時に、大阪府において偽装請負に対する業務改善命令が大きく報道された時期であった
  - 摘発等の資料として絶対に使用しないことを丁寧に説明し、回答を得た。



# 質問の概要

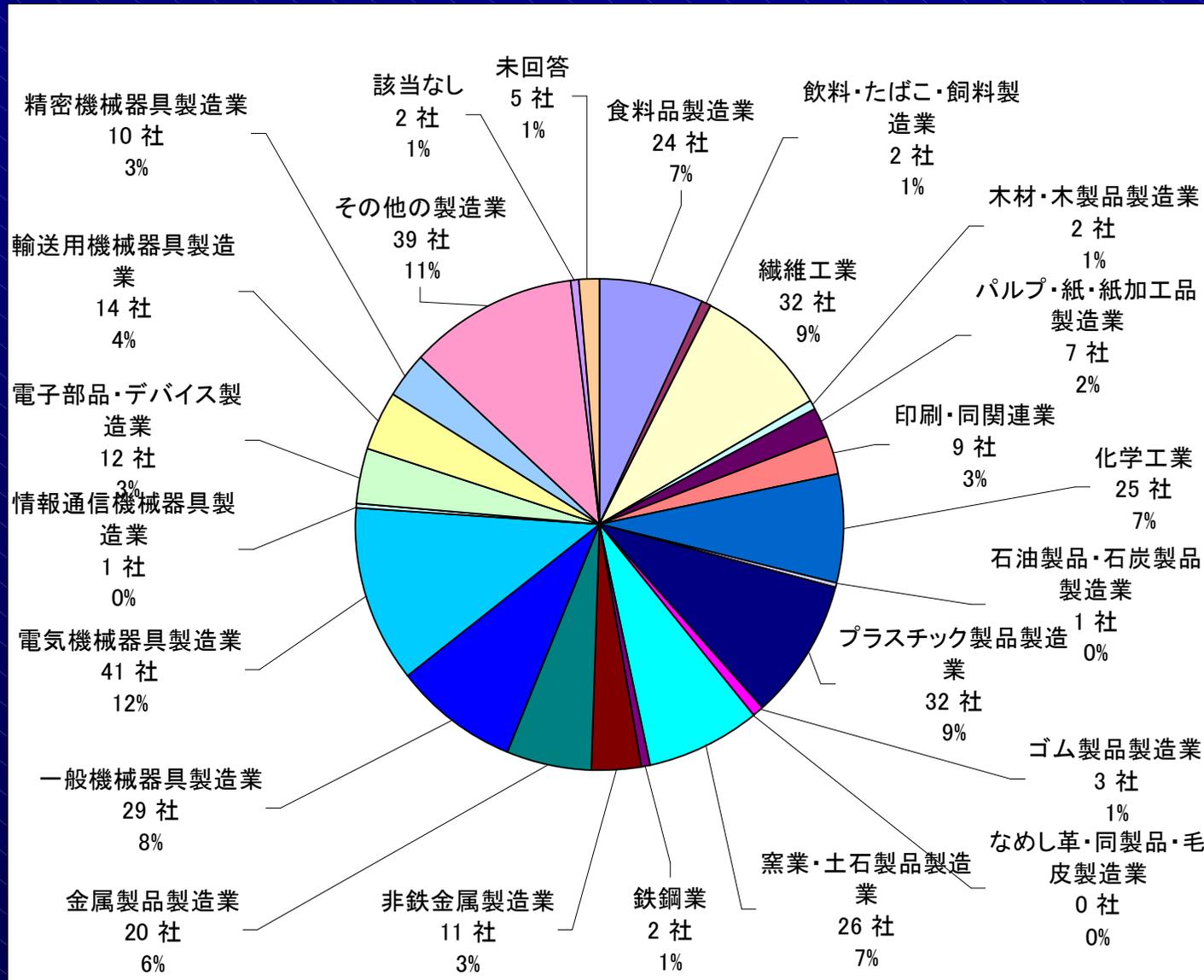
- 安全衛生管理体制
- 社員の雇用形態別健康管理状況の違い
  - 正社員
  - パート社員
  - 派遣社員
  - 請負社員

# 基本情報

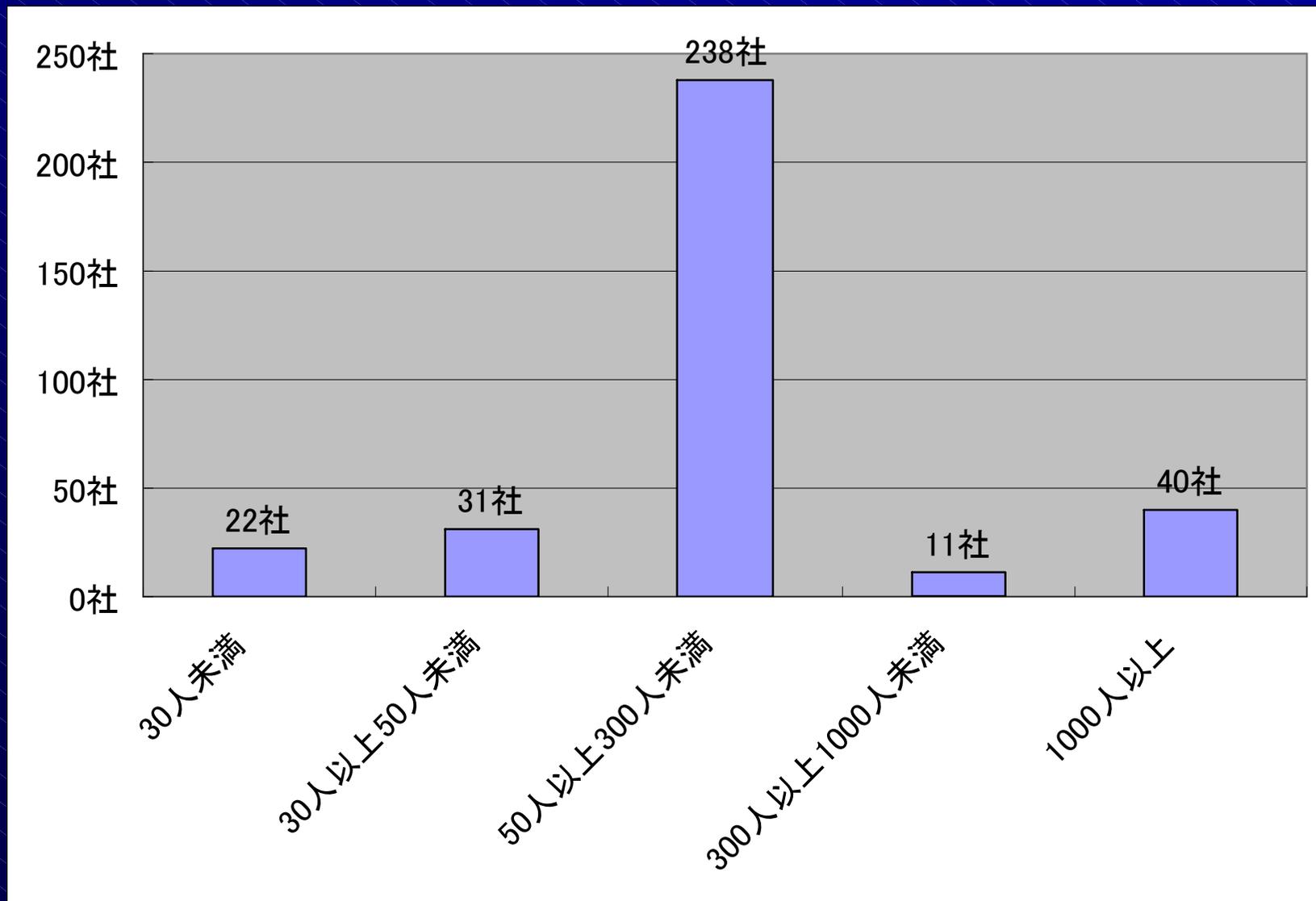
2007/10/26

6

# 業種別回答 事業場数



# 常時雇用労働者数別事業場数

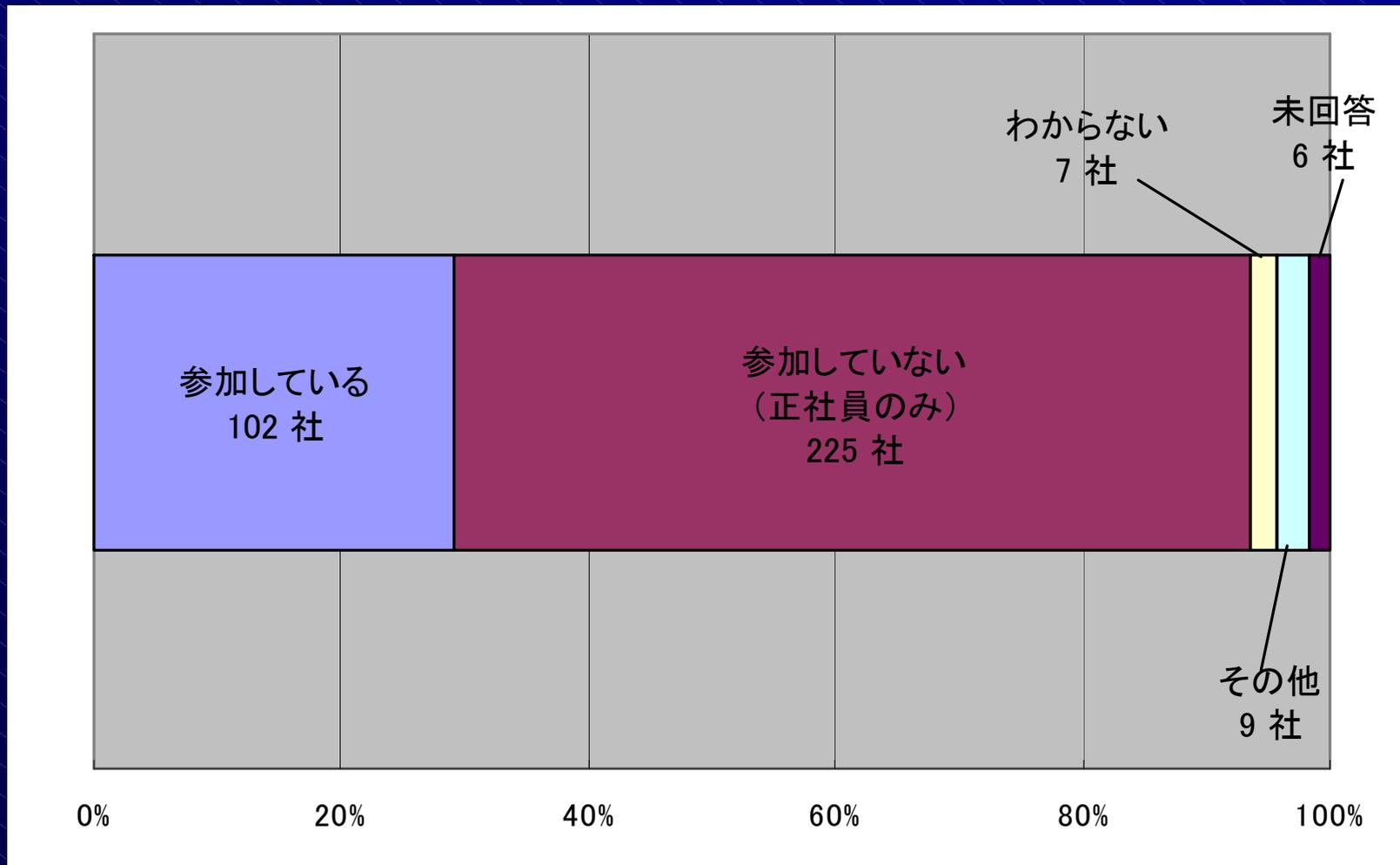


# 安全衛生管理体制

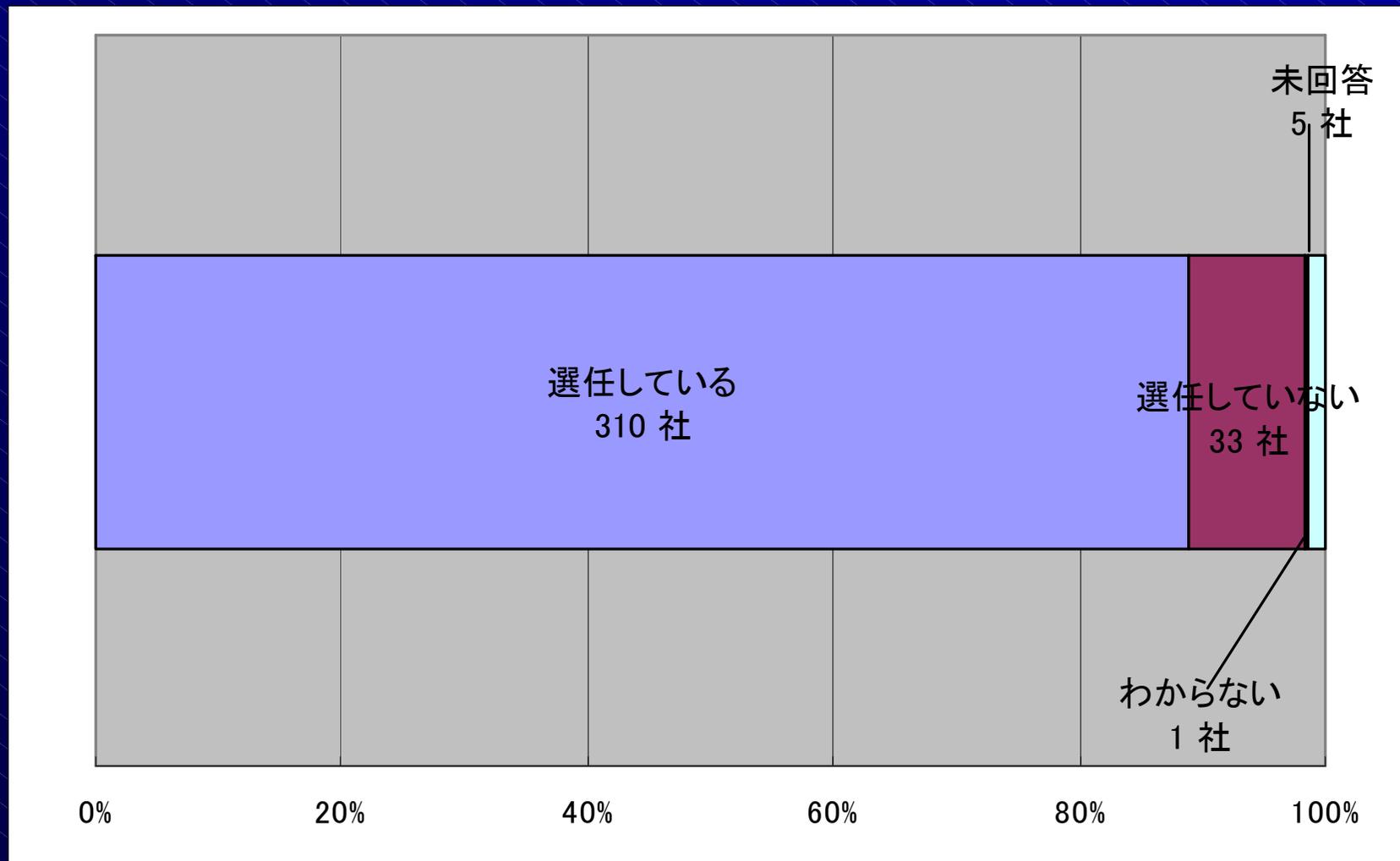
産業医・産業看護職の選任と実働状況

2007/10/26

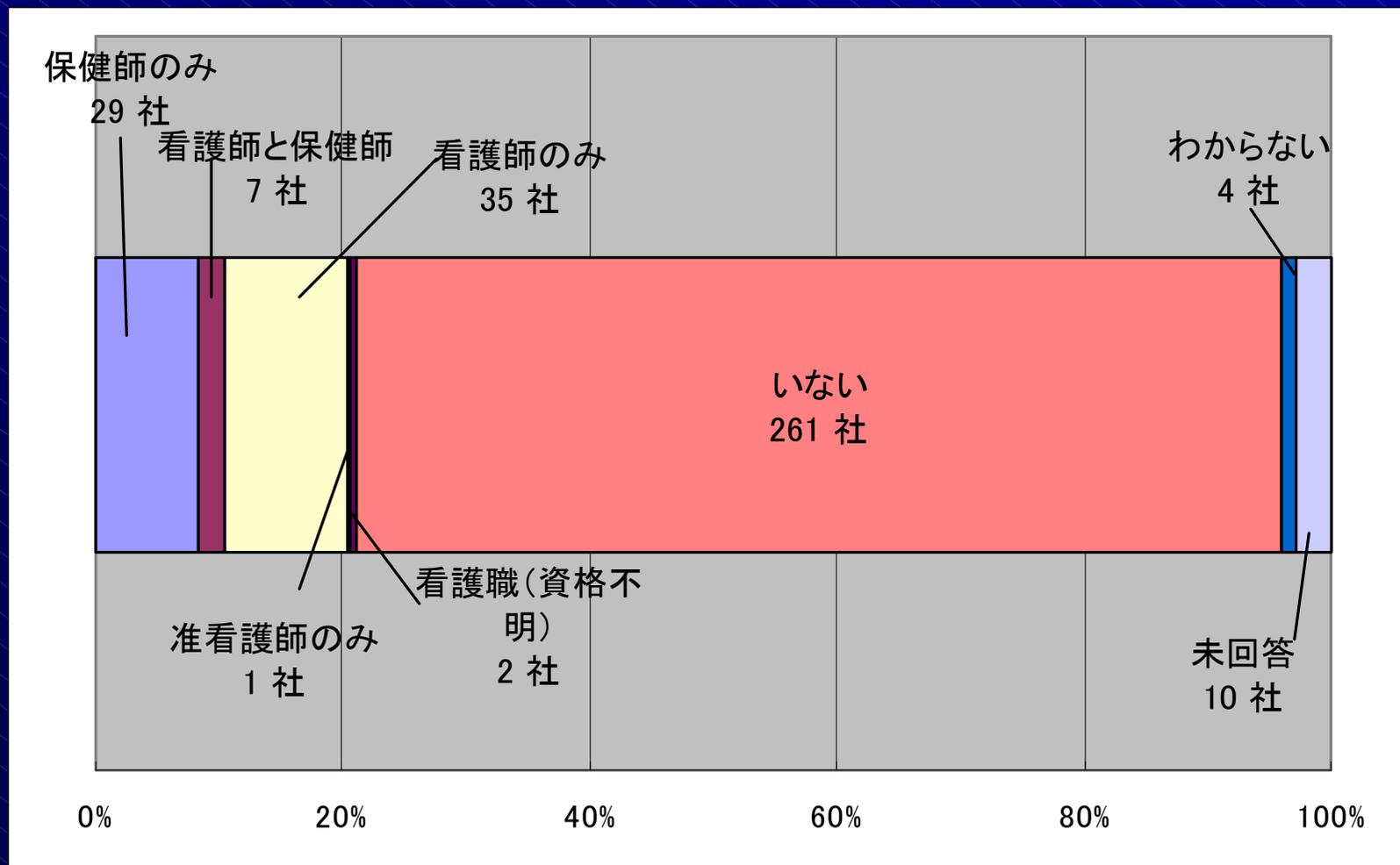
# 安全衛生委員会への非正規雇用労働者の参加 者の参加

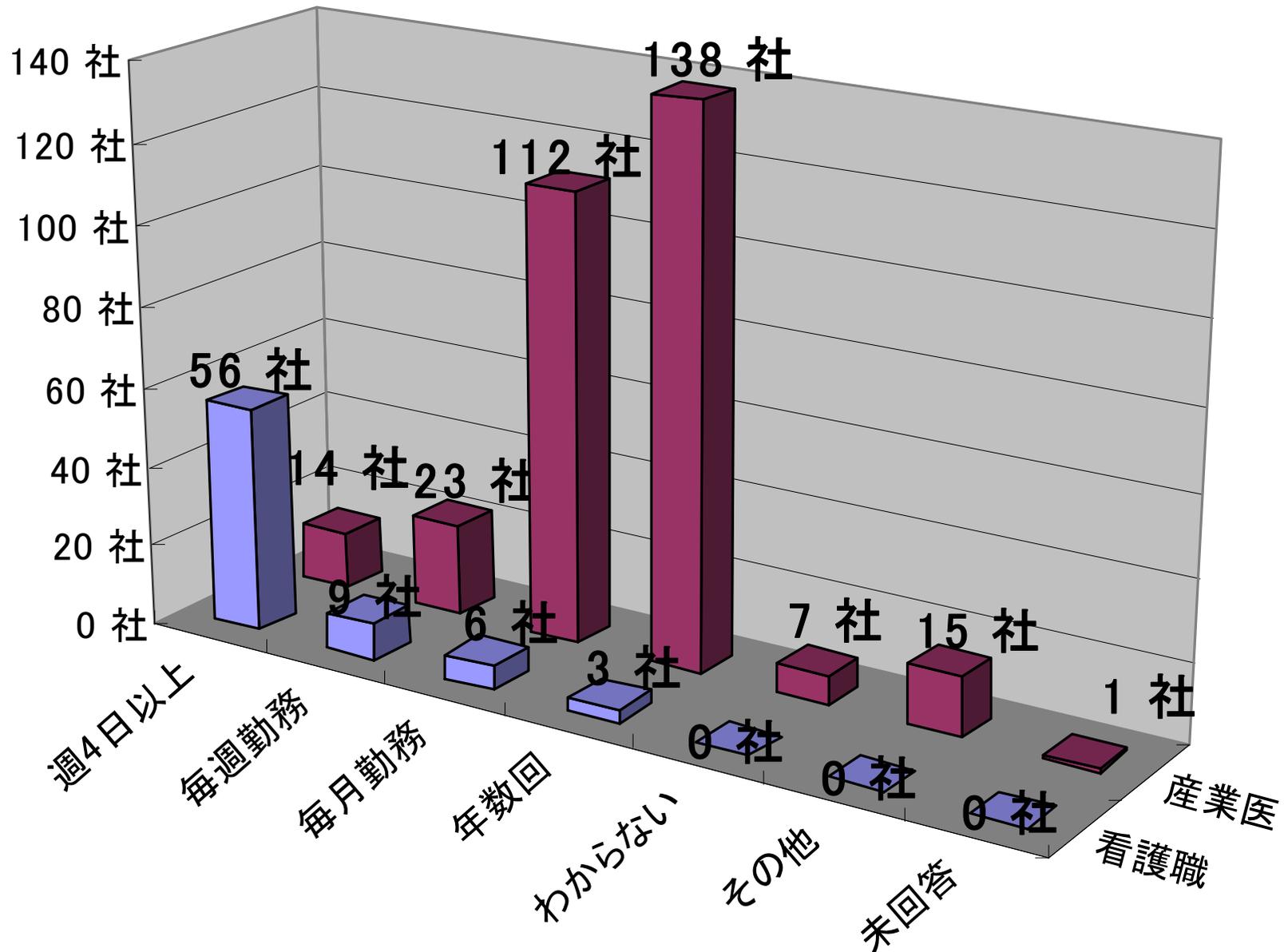


# 産業医の選任状況



# 看護職の選任状況





勤務状況

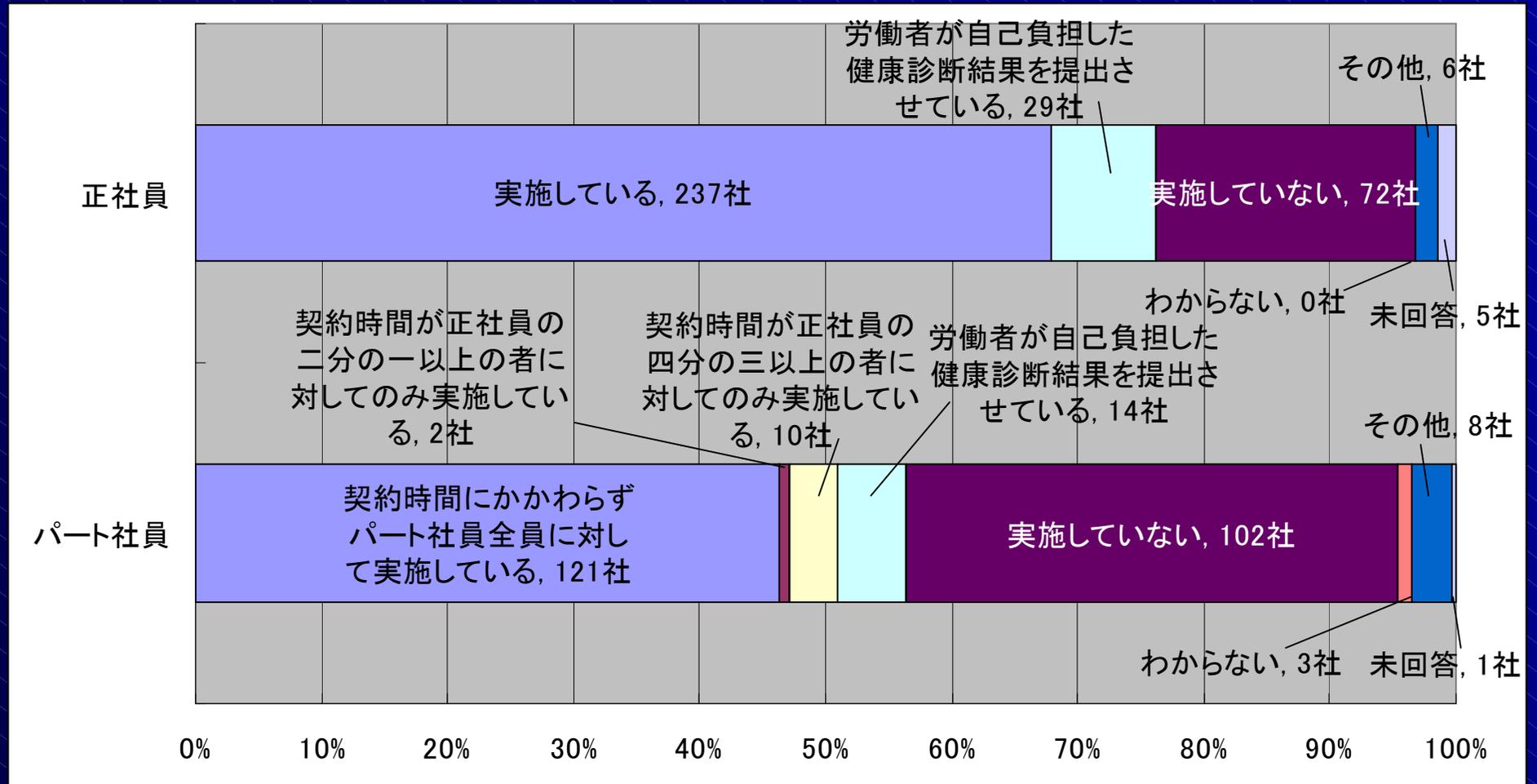
産業医と看護職

# 健康管理の状況

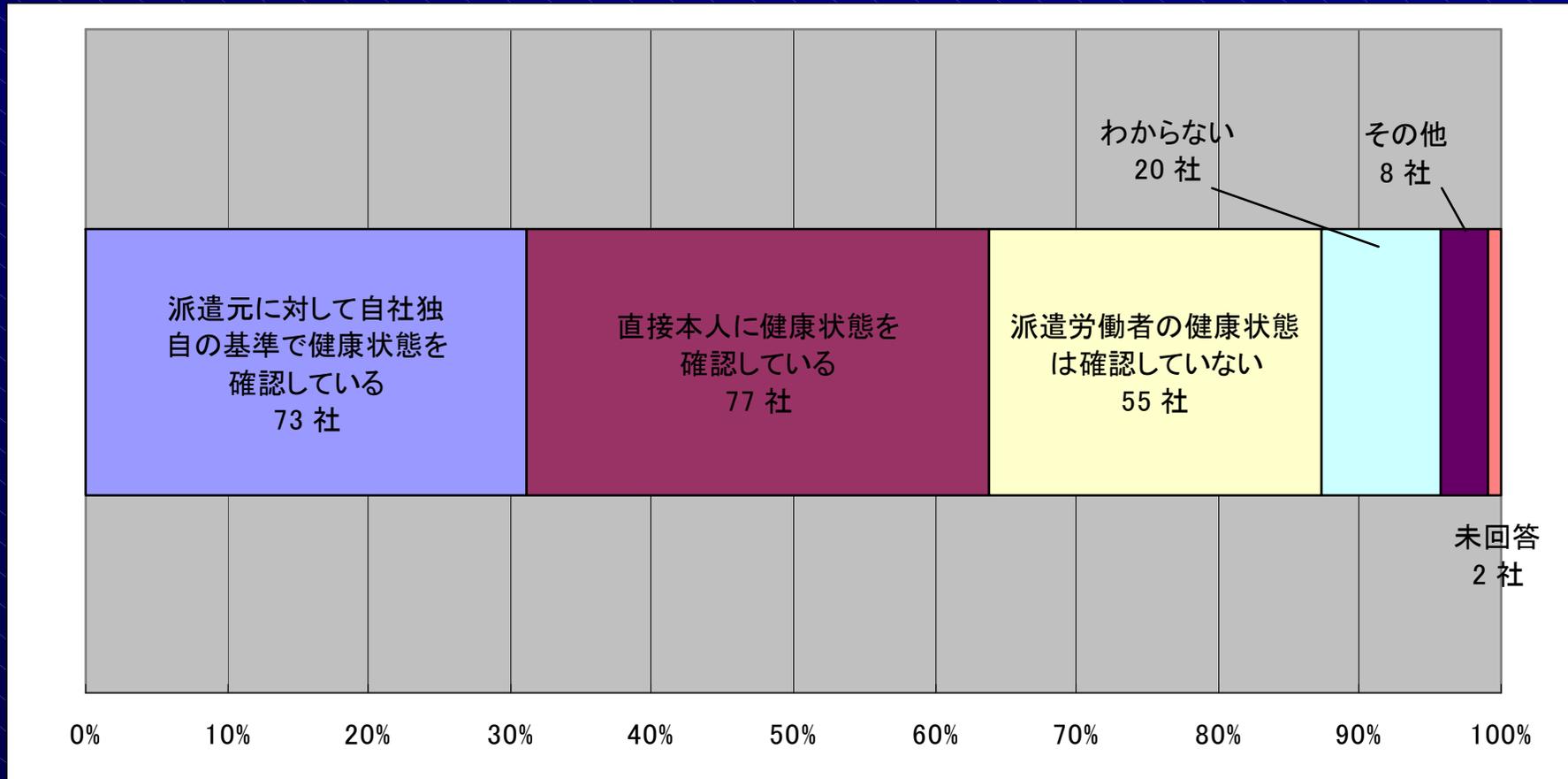
2007/10/26

14

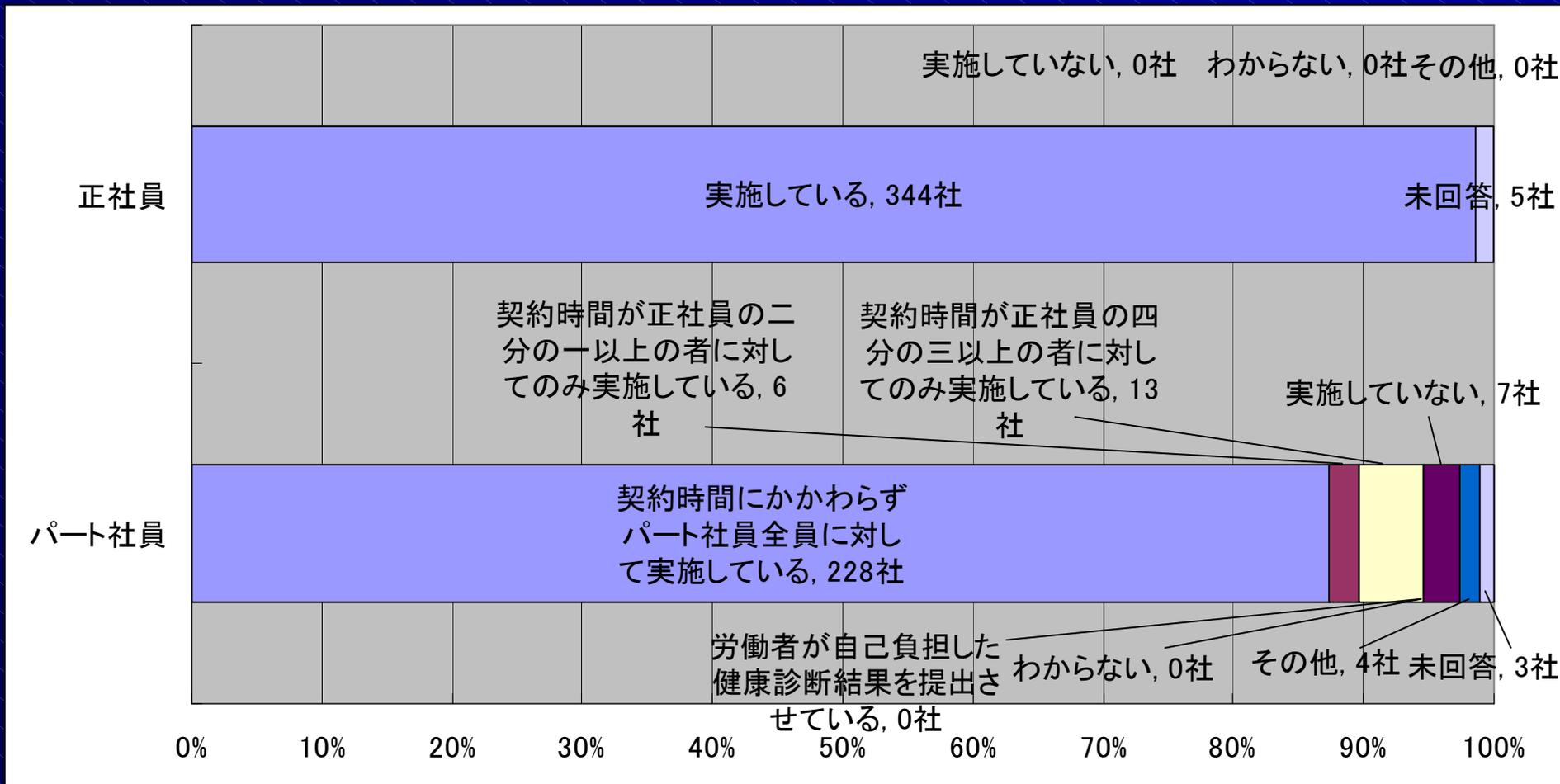
# 雇入時健診



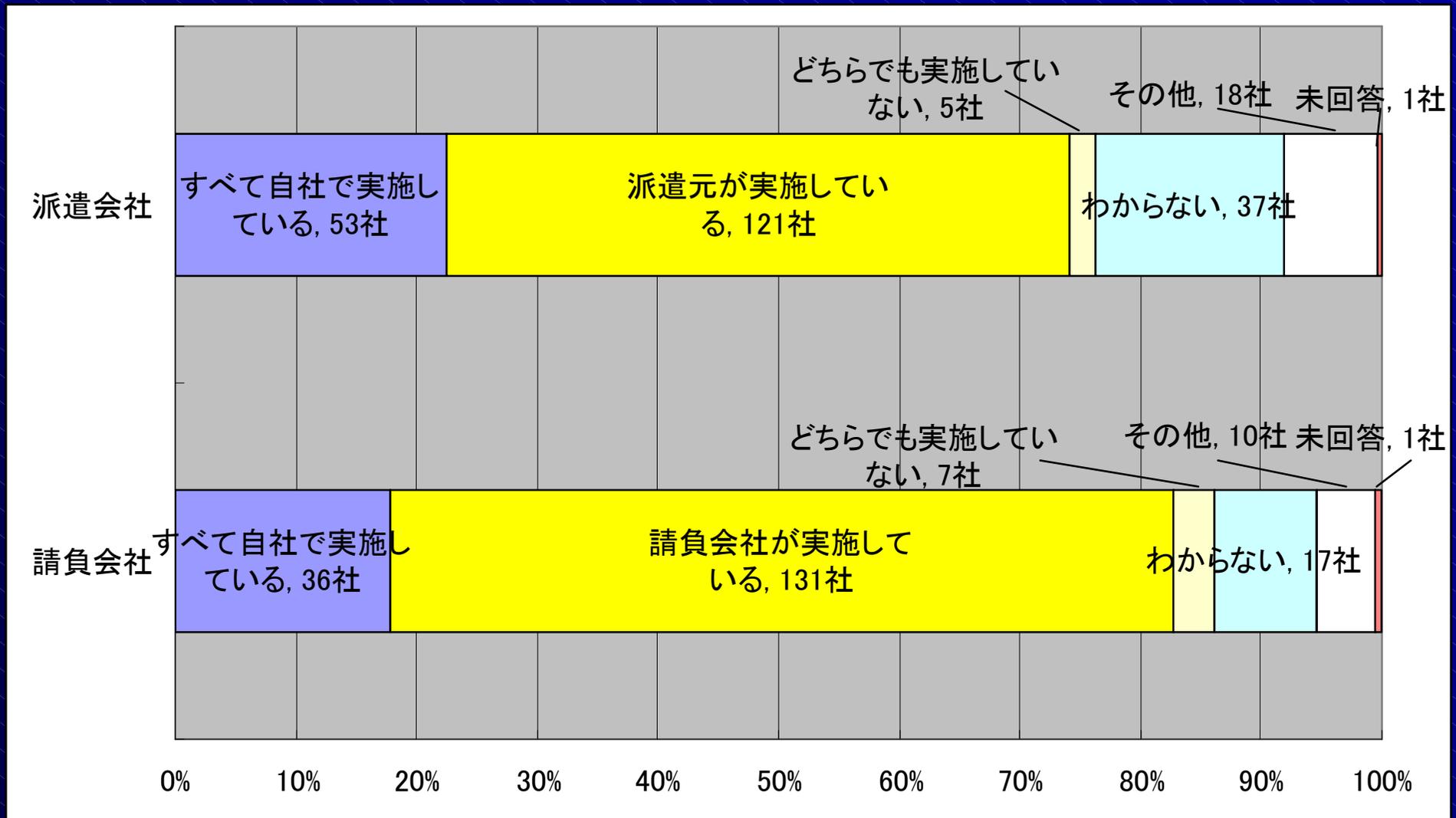
# 派遣社員雇入れ時の健康状態把握

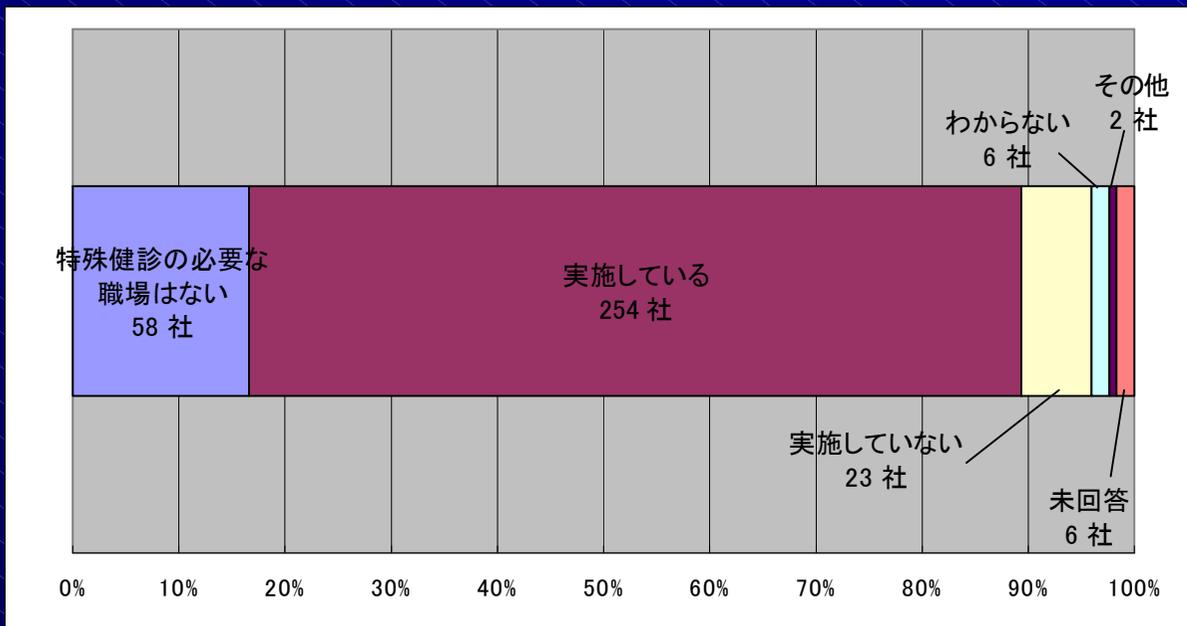


# 定期健康診断



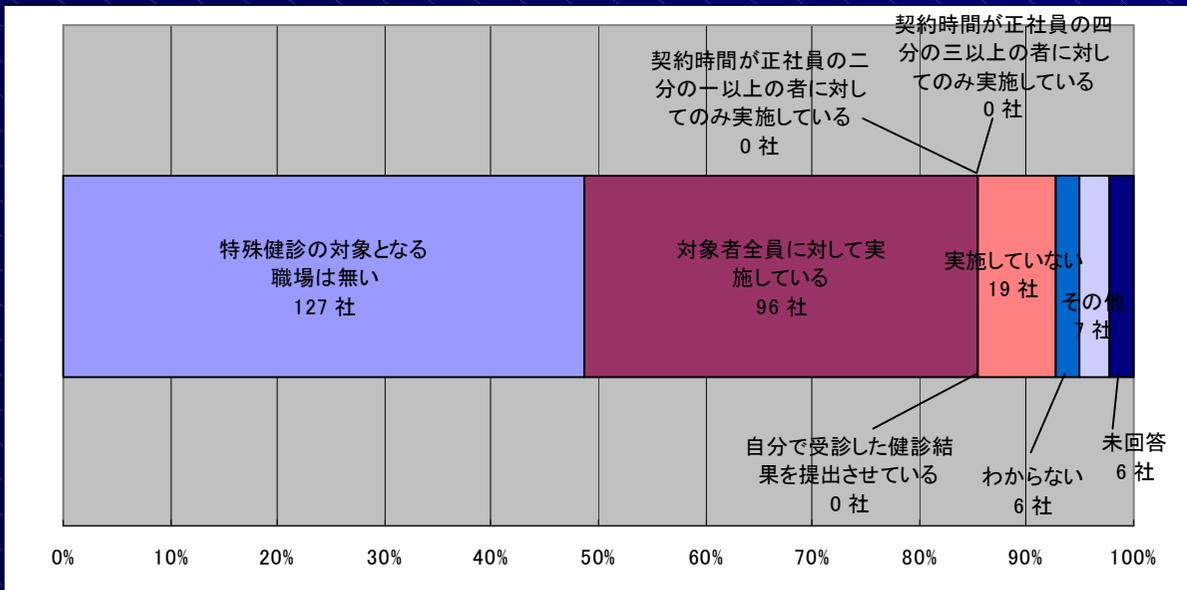
# 定期健康診断





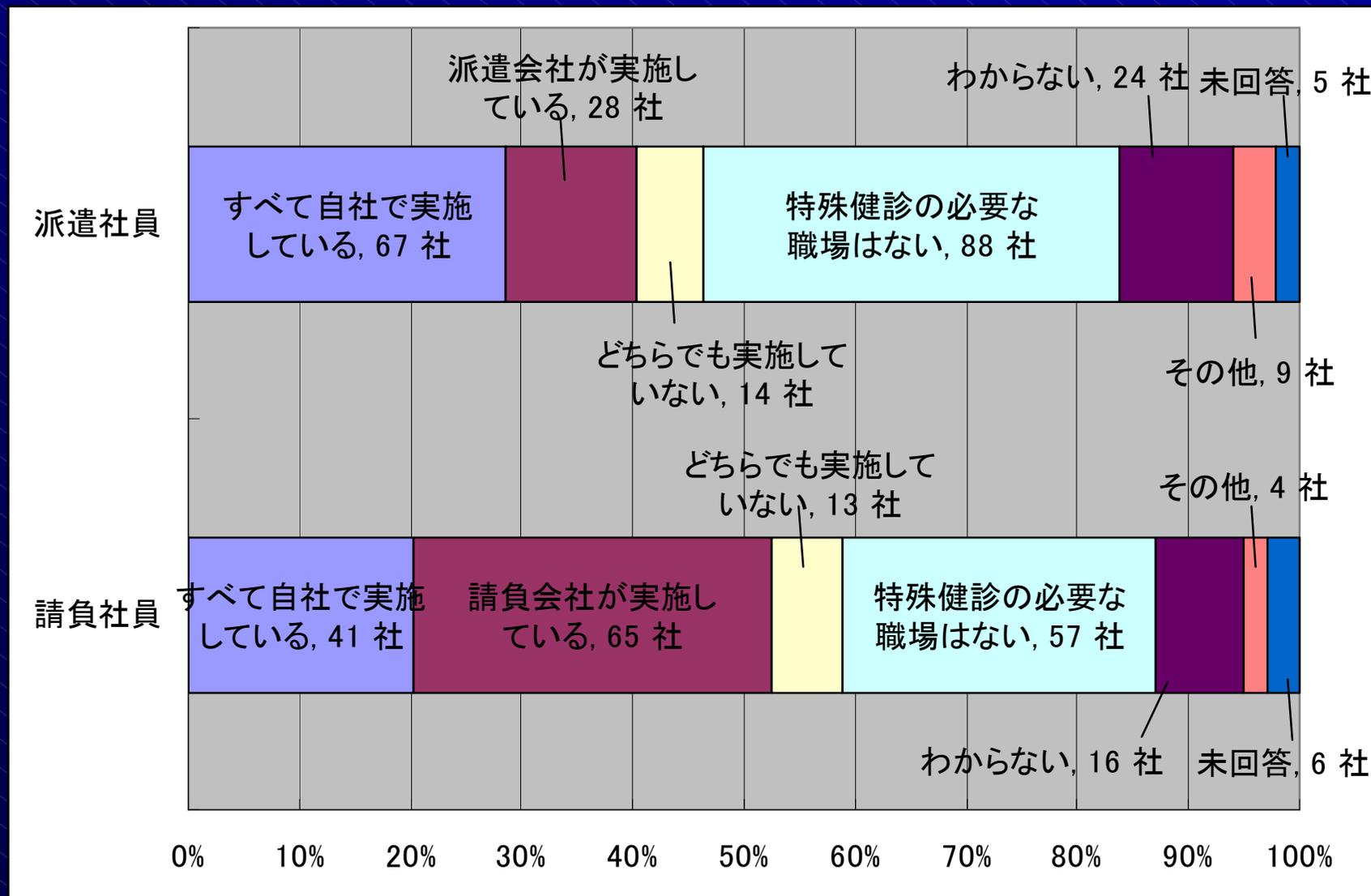
正社員

# 特殊健康診断

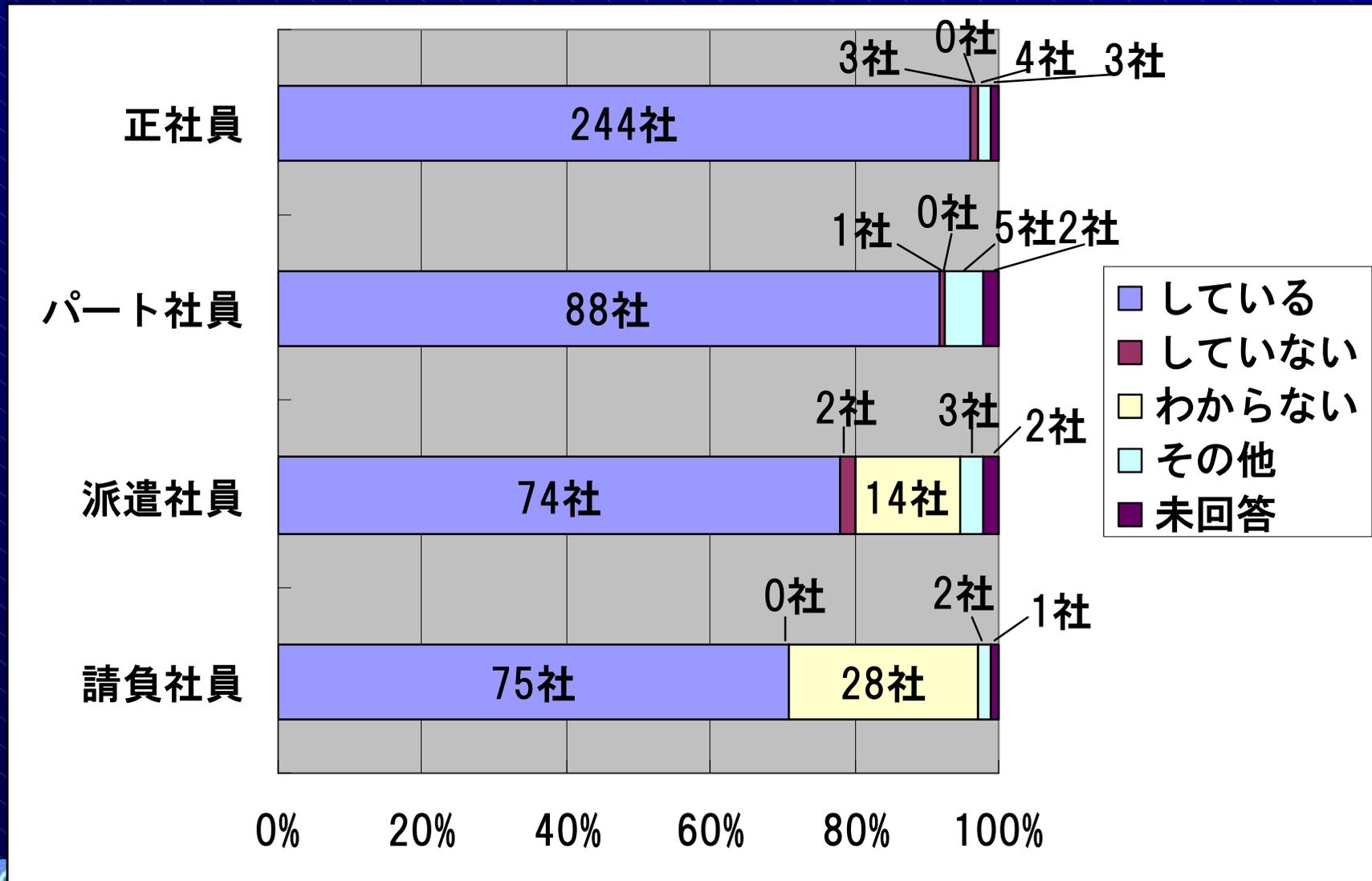


パート社員

# 特殊健康診断



# 特殊健診結果の本人通知



# まとめ

- 産業医は名義のみ、看護職は実務を担当する専門職として雇用されていることが多い
- 看護職がいる会社の方が、法定の健康管理を適切に実施しているところが多い。
- 直接雇用である、正社員・パート社員の健康管理は、適切に行われている
- 間接雇用労働者の健康管理は、責任が不明確になっている可能性がある。